

CAMPAIGN

「せめて家族の安否確認を！」

脱北者である川崎栄子さんが、オンライン署名運動をされています。北朝鮮に残してきたご家族の安否が2019年11月を最後にわからない状態です。金正恩政権がコロナをきっかけに手紙（文通）などすべての連絡手段を遮断してしまったからです。

私たちが日頃、少しでも子どもと連絡が取れないと、「何かあったのでは？」と心配するように、家族の安否確認は人間にとって基本的な安心のための権利です。川崎さん始め多くの脱北者・離散家族が求めるこの権利のための署名にご協力ください。国連や赤十字に提出されます。



北朝鮮に残してきた
家族の安否・生存確認のため、
「文通の正常化」を求めます

EVENT

9.6(土)ワンファミリー BBQパーティー開催！

多文化おもてなしフェスティバル2025実行委員会が主催するバーベキューパーティーが9月6日（日）、新木場公園にて開催されました。台風15号が過ぎ去った後、都内は絶好のBBQ日和に！



日本はもちろん、フィリピン、ブラジル、イラン、ガーナ、ベトナムからも新しい仲間が参加し、ボランティアさんも含め、総勢30名ほどで集結。楽しくて美味しい時間を過ごしました。

みんなでお肉を焼いて、一緒に楽しみながら、フェスティバル本番に向けてワンファミリーの文化が盛り上がってくる時間でした。



フェスティバルは11月15・16日（土日）です。ぜひお越しください！

NOTICE

11.15-16 多文化おもてなしフェスティバル2025

11月16日
日曜日
11:00～18:00

11月15日
17～19時
前夜祭！

**多文化おもてなし
フェスティバル**

Multicultural One
Family Festival
2025

会場
プラザマーム
PLAZA MAAM

主催：多文化おもてなしフェスティバル2025実行委員会
事務局：一般社団法人 グローバル・ピース・ファンデーション・ジャパン 電話：03-6416-6435

東京都中央区日本橋浜町1-1-12
プラザANSビル2F

世界中から集まった仲間たちがワンファミリーになるお祭りです。世界の食、ファッション、音楽が楽しめます！

- 11/15（土）17:30-19:00（開場17:00）
【前夜祭】：映画『ハナのサンタ』特別試写会、歌・ダンスなどのパフォーマンス
- 11/16（日）11:00～18:00（開場10:30）
【多文化おもてなしフェスティバル】
～文化公演、多文化の食・展示～



▲詳細&お申し込み

9月6日（土）にGPF JapanとAKU Japanの共催で開催された第3回コリアンドリームZoom勉強会。今回のテーマは「朝鮮半島の平和統一は果たして可能なのか？」でした。



最初に脱北者でありAKU Japan代表理事である川崎栄子さんから、7月下旬から8月にかけて、約1ヶ月間にわたって韓国で行ってきた活動についての報告がありました。

1ヶ月間の韓国での活動を振り返って

川崎さんは今年で83歳になれましたが、北朝鮮の問題を解決し、残してきたご家族と再会するために、最善の努力を継続しています。

現在、金正恩政権が文通などの連絡手段を遮断しているため、ご家族の安否すらわからない状況が続いています。家族の安否がわからない中で生活するというのを私たち自身の立場で考えてみると、これは本当に大きな苦痛であり、気の休まる瞬間すらないのではないかと想像できます。川崎さんだけでなく、多くの脱北者や拉致被害者が離散家族の立場にあり、家族と連絡すらできない状況に置かれています。

この問題を解決するために、川崎さんは「文通正常化」を求める署名キャンペーンを展開し、その間、一人ずつ交代しながら「1日断食」をリレーのように行うことで、離散家族の切迫した思いを訴えています。（キャンペーン期間は7月17日から10月4日まで80日間。署名は前ページのQRコードから参加できます）

今回韓国では、ソウルだけでなく大邱や釜山へ移動しながら、国連関係者、市民団体など多くの方々と協力関係を築くことができ、また街宣を聴いていた警察官から「頑張ってください」と朝ごはんをご馳走していただいたというエピソードを披露されました。

朝鮮半島平和統一の実現は日本に大きなメリットをもたらす

続いて8月14日・15日に行われたワンコリア国際フォーラムやコリアンドリーム漢江フェスタの行事を振り返りながら、昨年よりも一回り大きくなった行事の様子を伝えつつ、AKU Japanとしては北朝鮮の問題を具体的に解決するための活動を継続しながら、AKUに集まった各団体と協力関係を作っていきたいと語りました。

川崎さんは北朝鮮で暮らしていた頃、地下資源を調査する

専門機関で働いていたことがあるそうです。北朝鮮は韓国と違い、莫大な地下資源に恵まれた国です。統一は日本にとってそういった面でも、莫大な資源を有した友好国が誕生するというメリットがあります。また、統一が実現されれば、拉致被害者をはじめとする離散家族の問題も根本的な解決を見ることができそうです。

川崎さんは、ワンコリアの実現は人道的な面でも、経済発展の観点から見ても、日本に大きなメリットをもたらすため、日本の皆さんがぜひ協力していただきたいと、講演を締めくくりました。

朝鮮半島平和的統一への可能性を探る

韓国

- 安全保障
 - ① 北朝鮮軍120万人（たとえ勝利しても莫大な被害）
 - ② 北朝鮮の核保有
 - ③ 兵役による機会の損失
- 経済
 - ① 経済成長鈍化（「日本化」）
 - ② 高齢人口率増加（2060年に高齢者が半数以上の予想）
 - ③ 天然資源の不足
- 周辺環境の変化
 - 国際社会は必ずしも統一を阻まない。民族の運命を主体的に決定可能！

韓国の課題を北朝鮮がカバーできる

続いて登壇したGPF Japanの芳岡は、朝鮮半島を平和的に統一するという「コリアンドリーム」ビジョンの実現性について語り、北東アジア各国の置かれた状況やニーズを、経済や安全保障の観点から分析しました。

2017年～2019年は、北朝鮮の核実験から始まり、南北首脳会談や米朝首脳会談が行われながらも、ハノイ会談が「ノーディール」に終わったように、結局は何の成果ももたすことができませんでした。

ここから得られた教訓は、各国が歩調を合わせ北朝鮮を然るべき方向に誘導するための「包括的ビジョン」の必要性であり、それがまさに「コリアン・ドリーム」です。

現在の北東アジア情勢は冷戦時代とは大きく変化しており、意外なことに中国やロシアですら平時においては必ずしも北朝鮮の身勝手な行動を快く思わず、条件次第では自国の発展のために統一コリアを歓迎する可能性があります。

何より朝鮮半島問題を平和的に解決するために、日韓米だけでなく、中国とロシアが加わって、将来の北東アジアの平和のために議論し行動するというプロセスが重要です。その共同作業は冷戦時代からの対立構造を変化させ信頼関係を深めさせ、溝を埋めていくという効果をもたらします。

現在、米中覇権競争の激化と新冷戦構造が固定化されかねない状況であり、正に北東アジア全体が平和のために協力できる包括的なビジョンを必要としている時だと言えます。

（「コリアンドリームZoom勉強会」は今後も2ヶ月ごとに開催され、次回は11月を予定しています。）

一般社団法人 グローバル・ピース・ファウンデーション・ジャパン

東京事務局

住所 〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7番7号 O・Hビル401号室

TEL 03-6416-5435 FAX 03-6416-5436

E-mail japan@globalpeace.org

仙台オフィス

住所 〒980-0011

仙台市青葉区上杉1丁目12-20-207

TEL 090-8546-7806